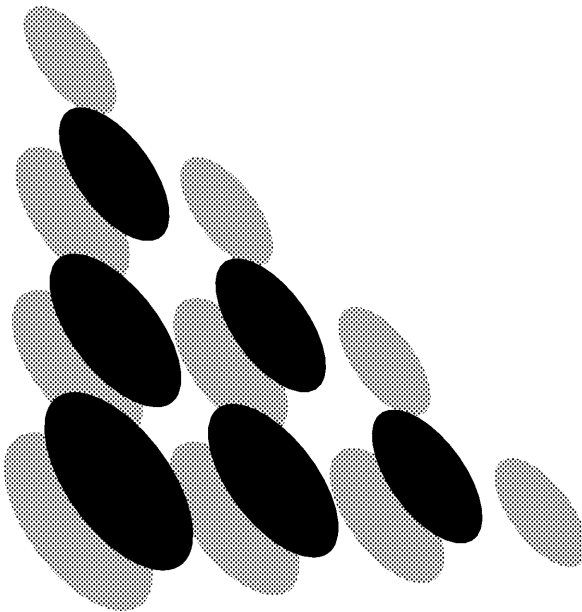


CELSIUSシリーズ

拡張CPUモジュール-1.7GHz (CLECPX174)

拡張CPUモジュール-2GHz (CLECPX204)

取扱説明書



はじめに

このたびは、拡張CPUモジュールをご購入いただき、まことにありがとうございます。

本書は、拡張CPUモジュール（以降、本製品）の取り扱いの基本的なことからについて説明しています。ご使用になる前に本書およびワークステーション本体に添付の取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2001年10月

梱包物を確認してください

お使いになる前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。万一足りないものがございましたら、おそれいりますが、担当営業員または担当保守員までお申し付けください。

CPUモジュール	ファン付ヒートシンク
グリス	保証書
取扱説明書（本書）	CPU固定金具（2個1組）

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書ではいろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

⚠警告 : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

1 概要

本製品は、ワークステーション本体に追加搭載することにより、1CPUシステムを2CPUシステムにすることができます。

2 搭載可能なワークステーション

搭載可能なワークステーション本体は、CELSIUSシリーズシステム構成図で確認してください。

3 搭載方法

⚠ 警告

- ・ ワークステーション本体内にCPUモジュールを取り付け・取り外しを行う場合には、ワークステーション本体および接続されている装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。
- ・ CPUモジュールの取り付け・取り外しを行う場合は、装置停止後、十分に待ってから作業を始めてください。やけどの原因となります。

⚠ 注意

- ・ CPUモジュールを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ・ CPUモジュールは静電気の影響を受けやすいので、取り扱いに注意してください。
- ・ CPUモジュールの保管は、湿気の多い所、直射日光の当たる所、暖房器具などの熱の当たる所を避けてください。

ワークステーション本体に添付されているマニュアル『ハードウェアガイド』の「内蔵オプションの取り付け」を参照して搭載してください。

CPUモジュールの取り付け後はオペレーティングシステムをマルチプロセッサカーネルに変更する必要があります。

変更方法につきましてはマニュアル『ハードウェアガイド』の「内蔵オプションの取り付け」を参照してください。

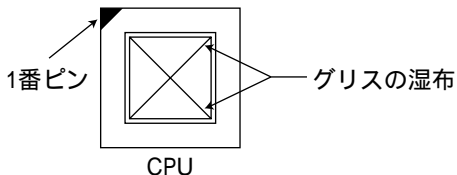
グリスの塗布方法について

CPUは非常に熱くなる部品です。ファン付きヒートシンクとCPUの間に、必ず添付のグリスを塗布してください。故障の原因となります。

添付の注射器には2回分の容量が入っておりますので、約半分の量をご使用になり、下図に従い塗布してください。

Intel® Xeon™ と書かれている金属面が塗布面です。

塗布面に注意して、グリスを注射器で×印に塗布します。



グリス塗布後、ファン付きヒートシンクを取り付けてください。

ファン付きヒートシンクを取り付けることで、グリスを均等に塗布することが出来ます。

CELSIUSシリーズ

拡張CPUモジュール-1.7GHz (CLECPX174)

拡張CPUモジュール-2GHz (CLECPX204)

取扱説明書

P3FY-1540-01-00

発行日 2001年10月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。

無断転載を禁じます。

ア 0110-1